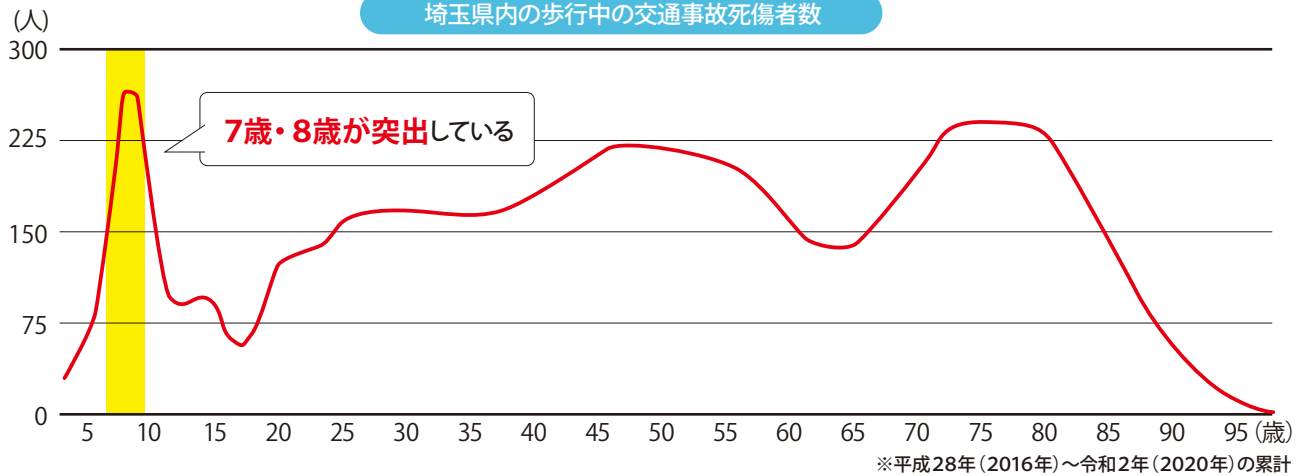


子供を交通事故から

守るために



7歳の1人歩きは危険です!



歩行中に交通事故で亡くなったり、ケガをされたりした方を年齢別にみると、**7歳・8歳が突出して多くなっています**。小学校への入学に伴い、それまで保護者の方と一緒に歩いていた道路も、登下校や友達との遊び等、1人で歩く機会が多くなります。一方で、7歳・8歳児は**交通の危険性の認識が十分ではなく**、急な飛び出し等で交通事故に遭っていることが原因と考えられます。1人で出歩く機会が増える小学校入学前に安全について親子で確認することが大切です。

point 飛び出しが多い

見通しの悪い交差点や建物の出入り口付近での飛び出しはもちろん、**走行中、停車中の車の直前直後の横断**には注意が必要です。



point 自宅近くの事故に注意

小学1・2年生の行動範囲は、学校や公園など自宅近くが中心で、**自宅から1km以内で事故が多く発生しています**。



どのように行動したらよいか確認しましょう

交通量が多いところ

見通しの悪いところ

横断歩道があるところ

point 14時から18時の事故に注意

登下校時は集団登校や地域の見守りがある一方、**下校後の時間帯は児童の注意や地域の見守りが手薄になりがち**です。出かける前の声掛けを行きましょう。

入学前の通学路チェック!

交通量の多い場所や走る車の速度

歩道の幅、ガードレールがあるか

ポイント

交通量が多い場所や歩道の幅が狭い道路では、**広がって歩かないことや道路で遊んではいけない**ことを伝えましょう

周囲の見通しのよさ

ポイント

見通しの悪いところでは、**必ず車や自転車が来ていないことを確認**するよう伝えましょう

信号機の確認

信号機のある交差点での待機場所

ポイント

信号のルールを確認し、**車道から離れて待つ**ようにしましょう